

478 美川駅 37Work

【キーワード】

〔施設種別〕 ☐ 高齢者施設 ☐ 障がい者施設 ☐ 子ども施設 ☐ 住宅 ☐
〔運営主体〕 ☒ 市区町村 ☐ 法人 ☐ NPO ☐ 個人 ☐ 〔補助金〕 ☐ 内閣府 ☐ 国土交通省 ☐ 厚生労働省 ☐
〔建物形式〕 ☒ 1 棟単体型 ☐ 複数棟集合型 ☐ 団地型 ☐ 〔建物状況〕 ☐ 新築 ☐ 増築 ☐ 改修 ☒ 一部改修 ☒ 既存
〔対象者〕 ☐ 高齢者 ☒ 障がい者 ☐ 子ども ☐ ファミリー ☐ 多世代



写真 1. 外観写真

美川駅は、JR 西日本北陸本線沿いの駅で、美川の玄関口として一日約 800 人に利用されている。平成 24 年（2012 年）より、社会福祉法人佛子園が委託管理をしており、主に駅舎の清掃業務、駅中の待合室・カフェの運営、既存のふれあいホールの管理を行っている。駅舎管理は障がい者の就労支援の一環で、障がいのある人々も清掃員やカフェで働いている。

■事業概要

所在地：石川県白山市美川中町口 221 番地 1

事業内容：障がい者就労継続支援 A 型事業

JR 美川駅指定管理

JR 美川駅隣接駐輪場管理

JR 小舞子駅隣接駐輪場管理

美川駅周辺公園トイレ清掃 5 か所

Cafe 業務（美川 37 カフェ）

請負作業

施設外就労支援（温泉清掃、クリーニング業）

事業主体：社会福祉法人佛子園

委託開始：2012 年



写真 2. 周辺状況（googlemap より）

白山市の東端の駅であり、周辺は低層の住宅地となっている。金沢駅までの時間は、各駅停車で 20 分弱である。

1. 運営概要

社会福祉法人佛子園が、JR 美川駅の駅舎建物管理、清掃業務、カフェ運営を委託業務として担っている。この駅舎は白山市の持ち物で、その指定管理者になっているという枠組みである。

佛子園による美川駅舎の委託管理は、2012 年から始まる。美川駅舎は 2 階建てで、1 階にはエントランスと事務所、ふれあいホール（一般市民向けの小ホール）があり、2 階には改札口と広めの待合室があった。築 25



写真 3. 美川駅改札前

美川駅の改札は 2 階にあり、カフェと同階にあるものの、JR と駅舎管理の運営は別である。

参考文献

1) 社会福祉法人佛子園 HP 美川 37work
<http://www.bussien.com/mikawa37/>

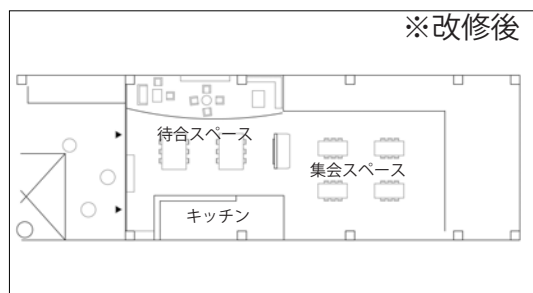


図1. 改修後のカフェ 間取り図 (写真4 点線内)
 手前と奥で2つに分けることで、待合としての利用以外の使い方が可能になった。

年の駅舎建物は、正面の北口側に建ち、北側ガラス張りの外観が印象的だ。佛子園による管理以前は、駅舎はスプレー等による落書きの被害の多発、併設するふれあいホールは市民から認知されておらず利用もほとんどされず、また駅の待合室には、シンボリックな大水槽があったが管理に費用がかかり使われていない、など様々な課題を抱えていた。そうした状況は駅周辺にも広がり、店舗の閉店により人が集まる空間は失われつつあった。

そうした状況をなんとかできないかと考え、市が佛子園に話を持ち掛けたことがこの事業の始まりとなった。もともと、駅舎の管理における清掃活動において障害者雇用を進めることは市の考えであり、市の障害福祉課が入って運営していた。しかし、駅舎の経営は赤字であった。そこで、民間に指定管理の担い手を投げかけたが、手が上がらなかった。佛子園は西圓寺の取り組みが知られていたもので、障害者の働く場として、また公共の施設の運営の担い手として取り組んでもらえないかという声がかかり、法人として検討した結果、やってみようというこ

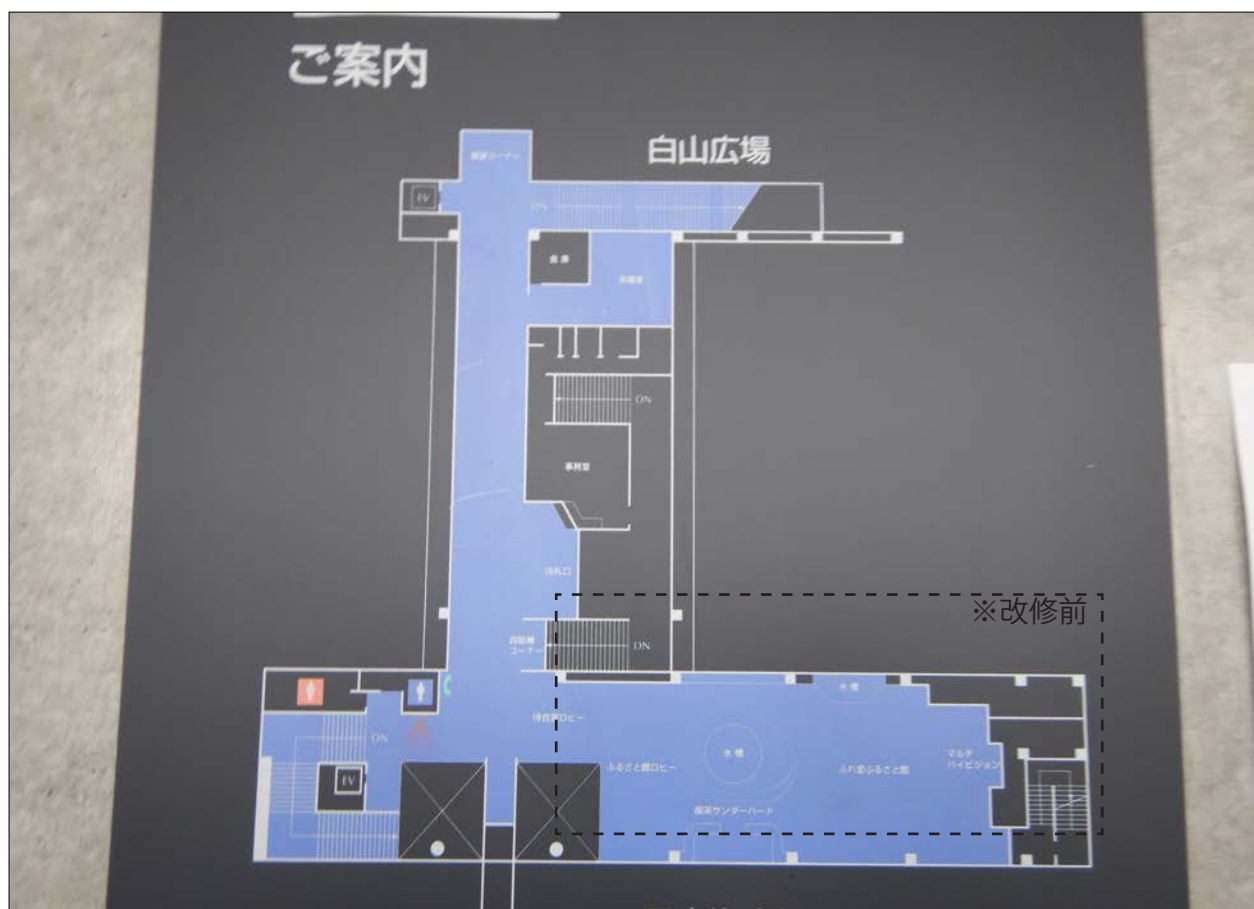


写真4. 改札階 (2階) 間取り図 (駅構内案内版)

間取り図は、建てられた当時のものである。現在は、点線部分は改修され、北側に伸びる歩道橋は使用禁止となっている。待合スペースのある部分の1階は、ふれあいホールである。

とになった。

佛子園が管理に入った当初、街の人の理解は必ずしも十分であったわけではなく、街の玄関口に障害がある人が入ることへの抵抗感も聞かれた。しかし運用開始後、それまで落書きやたばこの吸い殻だらけだった駅舎がきれいになり、日々障がい者が熱心に働く姿を、駅を使う人々が日常的に目にすることで、徐々に市民からの偏見は和らぎ、当たり前の日常として理解されるようになっていった。はじめは駅舎からスタートした清掃業務も広がりを見せ、周辺の駐輪場や公園内トイレも委託されるようになり、就労支援の利用人数も少しずつ増えている。障害者福祉というものが単なる施しではなく、お互いに役割を持ってともに生きることができるということが当たり前の日常の風景になりつつある。障害者が働くということ、障害のある人々が街の人々が日常的に使う場所の維持管理に貢献するという「働き」があってこそ関係だと考えている。



写真5. 待ち合いカフェエントランス

待合はガラス戸の向こう側であるが、その手前にもテーブルを設け滞在できるようにしてある。

参考文献

- 2) 社会福祉法人佛子園 HP 美川 37 カフェ
<http://mikawa37cafe.com/>



写真7. カフェ内の「良い椅子のコーナー」

一般的な駅の待合にはないようなオシャレな空間である。目玉になる空間を作りたいと考え、北欧ヴィンテージのソファや名作椅子、テーブルが置かれ、自由に使えるコーナーをつかった。木の温もりと使い心地の良い特別感が人気である。



写真6. カフェと、カフェ内の販売カウンター
もともと売店があった場所に、カフェのキッチンとカウンターを設けた。同法人の別施設であるむじん蔵（→事例 474）と提携してデザートの販売を行っている。



写真7. カフェ奥のギャラリーと集会スペース
この集会スペースは、予約をすれば団体や習い事などで使用が可能だ。壁も活用して絵画の展示を行っている。



写真8. 特産品コーナー
カフェ・売店の一角で、美川の特産品コーナーとした。美川の魅力を、以前よりも市民が身近に感じることができる。

2. 利用される駅舎に

1) 待合スペースの有効活用

美川駅周辺で抱えていた問題として、居酒屋やレストランなど、市民が気軽に利用できるような施設がないことが挙げられた。公民館などの公共施設は、規模が大きかったり単一の使用方法しかできず、人がいつでもふらっと使える場所を、市民は求めている。

そこで、それまではただの待合スペースだった駅舎2階の西側を改装し、『美川 37Cafe』として、だれでも利用できる場所を作った（ここは待合所なのでカフェを利用しなくても自由に滞在できる）。この待合カフェは手前をカフェスペース、奥を展示・集会スペースに分けた。カフェスペースでは学校帰りの高校生が勉強したり、近くのおじいさんたちが集まって世間話をしたりと、待つ・食べる以外の活動も多くみられる。奥側では、美川のシニアサークルで制作した作品に囲まれながら、サークル活動や集会在がで人が集まる。

基本的に、カフェもテーブルも集会スペースもオープンなつくりなので、ここでは人の話声、テレビの音、キッチンで洗いや揚げ物をする音、駅内放送、BGM など様々な音が混ざり合う。一般の待合空間では考えられないようなごちゃまぜが、賑やかさを生んでいる。

2) ふれ愛ホールを生かすには

駅舎1階には、ふれ愛ホールと呼ばれるステージ付き

の小ホールが併設されている。駅舎が建てられたのが1990年代で、設備や照明は当時の姿のままである。このホールはもともと市が管理していたため、使用料が高く、またそもそも認知もされておらず、ほとんど使用されていない状態であった。

佛子園が管理を始めてから、利用されるホールにするにはどうしたらいいかを考え、市と協議を重ねていく。このホールは駅に併設されているということもあり、アクセスしやすくふらっと立ち寄りやすい、そしてプロジェクター投影などの設備面も整っている。

はじめは、美川のシニアサークルなどの作品展の会場として無料貸し出しを行った。認知度も上がった最近では、部活等の卒団式や、宴会での利用も多く、とくにシーズンであれば、毎週末は予約で埋まるほどだという。一般のホールは飲食禁止が多いが、それでは利用が限定されてしまうため、佛子園が市と交渉し、2階の美川37カフェと連携して宴会利用が実現した。

3. 駅で障がい者が働いている「日常」

従来の福祉という考えでは、高齢者や障がい者は隔離の対象であった。「健常者」にとっての日常から彼ら彼女らを切り離す歴史は、結果的に偏見と差別を助長してきた。

社会に開く福祉に転換した今でも、表に障がい者を出すこと、またまちのなかの日常の風景に障がい者の活動を観ることに違和感を覚える人は少なくない。そうした中で、ここでは障がい者が当たり前のように駅舎の清掃を行い、カフェの店員としてレジを打っている。人々の日常の中で、障がい者が同じ社会で暮らしているという感覚が自然と育まれていく。「当たり前」がアップデートされていく場、ここは佛子園が目指すの「ごちゃまぜ」の福祉、ごちゃまぜのまちづくりにおけるひとつの最先端である。

(作成 宇都宮大学 葛原希 2019.03

加筆・校正 東京電機大学 山田あすか 2020.1120)

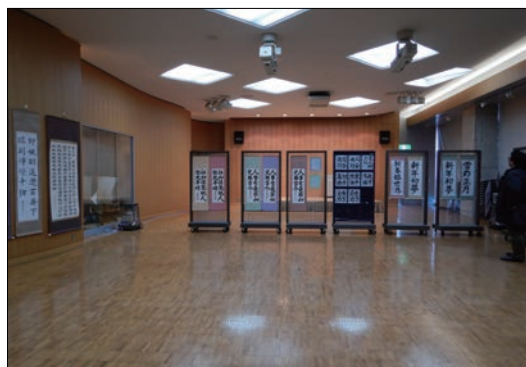


写真9. ふれ愛ホール

駅舎一階にあり、シニアサークルの展示や子どもクラブの集会などで利用されている。駅舎が建てられた当時のものだが、それまであまり利用されていなかったこともあり綺麗である。



写真10. 駅舎清掃活動の様子

1階エントランスを清掃するメンバー。